

大腸 ESD 後出血に対する内視鏡治療適応の後方視的検討

1. 研究の対象

2017 年 9 月から 2020 年 8 月の期間に、当院で大腸腫瘍に対して内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を受けられた方。

2. 研究目的・方法

大腸 ESD の偶発症である後出血に対する内視鏡検査/治療の適応を判断するうえで有用となる因子を過去の診療情報に基づいて検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報(カルテ記載、内視鏡レポートなど)

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：大阪国際がんセンター 消化管内科 谷 泰弘

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上